

NIHONJINKAI a.s.b.l.

発行：広報委員会

責任者：川口浩司

Avenue des Meuniers 133

1160 Brussels, Belgium

TEL: +32 (0)2-647 38 39

e-mail : jimukyoku@nihonjinkai.be

URL : www.nihonjinkai.be

Bimonthly Bulletin of the Japanese Association

No. 425 January 2026

ONLINE

日本人会会報



日本語スピーチコンテスト 小笠昇審査委員長と優勝者の Charline Pitti さん

目次

- | | | | |
|----|---|----|---|
| 2 | 新年の御挨拶
相川 一俊 | | |
| 5 | ピリオド楽器によるコンサート
ベルギー日本人会 総務委員会 | 18 | ベルギーのありふれた生活 20
日本大好き！フェリシアン・ロップス
日本ベルギー 160 年目の友好①
藤野 ユミリ |
| 6 | トラピストビールバスツアー
ベルギー日本人会 総務委員会 | 20 | 告知板 |
| 7 | ルーヴル・ランス美術館バスツアーレポート
ベルギー日本人会 文化委員会 | 22 | 今、学校では 会員限定
ブラッセル日本人学校 |
| 9 | 日本人学校セミナー「ベルギー生活のコツ情報」
ベルギー日本人会 総務委員会 | 24 | 会員異動 会員限定 |
| 10 | 日本人会秋季テニス練習会結果のお知らせ
日本人会 テニス部 | 26 | 2025 年度ベルギー日本人会第 2 回理事会議事録
(2025 年 11 月 18 日 開催) 会員限定 |
| 11 | 第 32 回日本語スピーチコンテスト結果報告
文化交流委員会 | 33 | 編集後記 |
| 16 | 西欧絵画の楽しみ方 111
「ヴェー・ニューヨーク」ルネ・マグリット
森 耕治 | | |

1 月号

新年の御挨拶

欧州連合日本政府代表部 特命全権大使
相川 一俊

ベルギー日本人会会員及び御家族の皆様へ、謹んで新年の御挨拶を申し上げます。輝かしい 2026 年の幕開けに当たり、皆様の御健勝と御多幸を心からお祈り申し上げます。

私がこのブリュッセルに着任してはや 2 年が経過しましたが、この間、この欧州の心臓部と呼ばれる地で、ベルギーの歴史と文化が息づく美しい街並み、そして多種多様な人々が共生するこの地の豊かな多様性に触れ、その活気とダイナミズムを体験するとともに、EU の各機関との関係を深め、日本と EU との間の絆を一層深めるべく、日々尽力してきました。

前回御挨拶を掲載させていただいた一昨年（2024 年）から昨年（2025 年）にかけても、国際社会は依然として不確実性と挑戦に満ちた状況にありました。特にロシアによるウクライナ侵略は長期化の様相を呈し、中東情勢の複雑化は世界の平和と安定に深刻な影を落とし続けています。こうした国際情勢が激動する困難な時においては、多国間主義及び法の支配に基づく自由で開かれた国際秩序を堅持すべく、同志国間の協力がこれまで以上に重要になっており、なканずく強固な志を同じくする日本と EU は互いにとって欠かせないパートナーとして緊密に連携していく必要があります。このような中、日・EU 関係を担当し、欧州における日本の外交拠点としての当代表部の責務の重さを改めて感じています。

私たちが常に念頭に置いているのは、「欧州とインド太平洋の安全保障は不可分である」という認識です。「ウクライナは明日の東アジアかもしれない」という言葉が示すとおり、力による一方的な現状変更の試みは、世界のいかなる地域においても許されません。この共通認識の下、日・EU 間の安全保障協力は新たな段階へと引き上げられ、昨年も多岐にわたる進展を見せました。昨年（2025 年）7 月に開催された日・EU 定期首脳協議において、日・EU 安全保障・防衛パートナーシップに基づき、サイ

バー、防衛産業、海洋安全保障、宇宙、情報等の分野での協力を着実に実施していくことに一致したほか、日・EU 情報保護協定の交渉開始や日・EU 防衛産業対話の立ち上げに向けた進展など、具体的な協力が深化しています。また、G7 を始めとする多国間の枠組みにおいても、日本と EU は結束して議論を主導し、国際社会の直面する課題解決に貢献してきました。

経済面においても、日・EU 関係は目覚ましい進展を遂げています。日・EU 経済連携協定（EPA）は、2019 年 2 月の発効から今年（2026 年）で丸 7 年を迎え、両間の貿易と投資の促進に大きく貢献してきました。日 EU・EPA の発効後、EU から日本への輸出額は大幅に増加し、両者間の利用率も貿易協定の中でも最高水準を維持するなど、本協定が真に機能するものであることを明確に示しています。日 EU・EPA に「データの自由な流通に関する規定」を含める改正議定書が一昨年（2024 年）7 月に発効したことは、デジタル経済の急速な進展に対応する画期的な出来事でした。

また、昨年（2025 年）7 月に開催された日・EU 定期首脳協議では、日・EU 間の経済面での協力関係を一層強化する画期的なイニシアティブとして、「日・EU 競争力アライアンス」を立ち上げ、経済安全保障、産業政策、イノベーション政策、エネルギー等の幅広い分野で具体的な協力を推進することで一致しました。これは、日本と EU は基本的価値観を共有し、安定的で予測可能なルールに基づく自由で公正な経済秩序、競争力あるビジネス環境の強化にコミットしており、同アライアンスを通じて、日・EU 双方が競争力を戦略的に強化し、共に成長するとともに、国際的な議論を主導することを目的とするものです。

昨年（2025 年）も、日本と EU との間では、首脳級・閣僚級のハイレベル交流がこれまで以上に活発に行われました。昨年だけで、大阪・関西万博の開催もあり、アントニオ・コスタ欧州理事会議長に

加え、ウアズラ・フォン・デア・ライエン欧州委員会委員長を含む 11 名（過去最多）もの欧州委員が訪日し、日本からも岩屋前外務大臣を始めとする政府要人や複数の国会議員団がブリュッセルを訪問するなど、双方の幅広い分野での対話が深化し、信頼関係は一層強固なものとなっています。こうした緊密な対話と交流こそが、不確実な国際情勢において、日・EU 協力の推進に不可欠な基盤を形成していると強く感じています。

さて、ベルギー日本人会会員の皆様は、この地で御自身の専門分野や日々の生活を通じて、日本とベルギー、そして EU との間の架け橋として多大なる御貢献をいただいています。特に、昨年(2025 年)は、当代表部設立 50 周年に当たり、ベルギー日本人会と当代表部の共催イベントとして、2 月の日 EU 友好関係 50 周年を祝うタベ、7 月のベルギー日本祭りの開催等、多大なる貢献を頂戴したことについて改めて御礼申し上げます。企業活動を通じて経済交流を促進されている方々、研究や教育の場で知的な貢献をされている方々、文化活動を通じて日本の魅

力を発信されている方々、そして地域コミュニティへの参加などを通じて草の根レベルでの相互理解を育んでいらっしゃる方々、皆様お一人おひとりの御尽力に、心からの感謝と敬意を表する次第です。皆様の存在なくして、ブリュッセルにおける日本のプレゼンスの向上、そして日・EU 関係の深化はあり得ません。当代表部といたしましても、皆様の活動に必要な支援を惜しまない所存です。

2026 年も、世界は様々な課題に直面し続けることでしょう。しかし、価値と志を共有する日本と EU が協力の裾野を更に広げていくことで、これらの課題を乗り越え、より平和で繁栄した国際社会を築くことができると確信しています。当代表部は、本年も引き続き、皆様と共に日・EU 関係の更なる発展のために全力を尽くしていきます。

末筆ではございますが、ベルギー日本人会会員の皆様及び御家族の皆様にとって、この 2026 年が健康で希望に満ちた実り多き一年となりますよう、重ねてお祈り申し上げます。



欧州連合日本政府代表部 特命全権大使
相川 一俊

在庫管理・
製造

財務

マーケティング

人事業務

販売



INFINITYのクラウド

ERPシステム

ひとつですべて実現

無料相談、
実施中！



🌐 www.infi2.com
✉ sales@infi2.com
☎ 02 644 44 77

Musée
Félicien
Rops

Japoniaiseries

Fantaisies japonaises
au temps de Félicien Rops

↳ Exposition
18/10/2025
15/02/2026

Félicien Rops, Femme au masque japonais, vers 1880-1885, dessin. Collection privée.

ピリオド楽器によるコンサート

ベルギー日本人会 総務委員会
亀岡 悦子、中村 太一

10月10日（金曜日）の夜、会員の皆さま限定イベントとして、古楽器による演奏会シリーズ第3弾「サロン音楽『ピリオド楽器による弦楽四重奏』」を、在ベルギー日本大使館広報文化センターにて開催いたしました。

今回お招きしたのは、ブリュッセル王立音楽院出身でベルギー国内外で活躍中の「ヴェスティジ弦楽四重奏団」の皆さま。メンバーは、ルイス・コラルさん（ヴァイオリン）、トーマス・ファン・ビンスベルゲンさん（ヴァイオリン）、シルヴェストル・ヴェルジェさん（ヴィオラ）、そして日本人チェリストの西村志保さんでした。



演奏に先立って、西村さんより「ピリオド楽器」についての興味深いお話がありました。羊の腸から作られたガット弦を使用しているため調弦が不安定になりやすいこと、そして現代のチェロのようにエンドピンがなく、脚で楽器を支えるという説明に、客席からは驚きの声が上がりました。いよいよ演奏が始まると、ピリオド楽器ならではの温かくまろやかな音色が会場いっぱいに広がり、ベートーヴェンとシューベルトの弦楽四重奏曲が披露されました。その繊細で豊かな響きに、聴衆は深く耳を傾けていました。

盛大な拍手に応えてのアンコールでは、ベートーヴェンの《ピアノ・ソナタ第8番「悲愴」》作品13の第2楽章〈Adagio Cantabile〉を、ブリュッセル生まれのオーストリア人作曲家・教育者ブルメンタールによる弦楽四重奏版で演奏。名曲が新たな表情を見せ、会場は一層の感動に包まれました。

演奏の余韻が残る中、「感動しました！」という声が多く聞かれ、お子様たちが真剣に聴き入る姿も印象的でした。演奏家の皆さんも、そんな集中力に感じ入った様子でした。世代を超えて音楽の魅力を共有する、まさに心に残るひとときとなりました。

演奏曲目

ベートーヴェン：

弦楽四重奏 第4番 作品18-4 (1801)

第1楽章 Allegro ma non tanto

第2楽章 Scherzo, Andante quasi Allegro

第3楽章 Menuetto Allegretto

第4楽章 Allegro

シューベルト：

弦楽四重奏 第14番 二短調 D810 (1824)

「死と乙女」

第2楽章 Andante con moto



最後になりましたが、ご参加くださった会員の皆さま、ご家族の皆さま、そして開催にご協力くださった関係者の皆さまに心より感謝申し上げます。今後とも日本人会の活動へのご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

トラピストビールバスツアー

ベルギー日本人会 総務委員会
小笠 昇

10月19日の日曜日に、人気のトラピストビール「オルバル (Orval)」を製造する修道院へ、バスツアーで59名の御参加者と行って参りました。



雨を心配しましたが、滞在中は明るい曇り空が続き、秋の紅葉の中にたたずむ修道院の美しい景色を、落ち着いたトーンで楽しむことができました。

現役の修道院やビール醸造所、チーズ工場は訪問できませんが（ビール工場は年1回だけオープンデーがありますが、あっという間に売り切れます）、18世紀末のフランス革命時に破壊された修道院跡地を自由に見ることができます。



野外の大聖堂跡はまるで映画のセットのようで、皆さん、思い思いの場所でお写真を撮っておられました。

屋内は様々なアートや遺物が展示されているミュージアム。ビールの醸造過程や歴史を説明する展示もあったりと、様々な知的刺激を受けました。

中庭には、オルバルビールの王冠やロゴの元となっている伝説（お姫様が井戸に落とした指輪を鱒が拾って差し出した）の泉があり、今もこんこんと清らかな水が湧き出ています。この美しい水がビール醸造にも利用されていると知り、オルバルビールの美味しさの一端を理解できました。



お昼は場所を移し、修道院製チーズと、オルバルビール使用のカルボナードをいただきました。

そして、本命のビール！まずは、オルバル・ヴェルテ（緑）という、ここでもしか飲めないアルコール度数4.5%の生ビール。重厚感あるオルバルビールと違った、IPA的な柑橘系の香りのする、のど越しの良いビールでした。

そして、定番のオルバルビール。製造したてと2年前のモノを出してくれます。糖分と酵母がまだ生きているこのビールは二次発酵が瓶の中で進むので、2年経つと香り、色、甘さ、そしてアルコール度数が変わります。同時に飲み比べることではっきりその違いが分かり、大変興味深かったです。

来年もまた、どこかのビールを皆様と飲みに出掛けたいと思いますので、どうぞお楽しみに！



ルーヴル・ランス美術館バスツアーレポート

ベルギー日本人会 文化委員会
石井 恵太

10 月 25 日、美術部主催の美術館バスツアーとして、フランスのルーヴル・ランス美術館を訪れました。

芸術と歴史、そして「時間」をテーマにした一日を振り返ります。

朝七時半、まだ夜明け前の気配が残る薄暗い雨空の下、集合場所のデルタ駅には早朝にもかかわらず多くの参加者が集まってくれました。40 名を乗せたバスは定刻どおりに出発し、国境を越えるころには雨もやみ、雲の切れ間から差し込む光に車内の表情も次第に和らいでいきました。道中では、美術館やフランスに関するクイズ大会を行い、車内は和気あいあいとした雰囲気になりました。

ランスの街に入ると、整った街並みの上に穏やかな空が広がり、まだ人通りの少ない静かな朝の通りを抜けると、ガラスに囲まれた白い建物——ルーヴル・ランス美術館が姿を現します。パリのルーヴルとは異なる、現代的で開放的なデザインが街の穏やかな気配と溶け合い、印象的な佇まいを見せていました。

現地集合の方を含めた総勢 41 名で館内へ入ると、外の気配がずっと遠ざかり、穏やかで落ち着いた空間が広がりました。まず向かったのは、美術館の中心展示「時の回廊 (Galerie du Temps)」です。



約三千平方メートルの広大な展示室には、先史時代から十九世紀までの作品が時系列に沿って配置され、仕切りのない空間で古代から近代までの美術が共存していました。古代エジプトの石棺の隣にギリシャ彫刻、その先には十七世紀の宗教画——時代も地域も異なる作品どうしが静かに対話しているように感じられ、まさに「時間の流れ」を巡る展示構成となっていました。



なかでも印象深かったのは、アルチンボルドの《四季》です。果物・花・穀物・枝を巧みに組み合わせ、人の顔を形づくる四枚の肖像画で、春・夏・秋・冬それぞれが異なる表情を見せています。一見ユーモラスでありながら、自然の循環と人の一生を重ね合わせた構成は、自然と人間の関わり、そして「時間の循環」を寓意的に描いたものとして現代でも高く評価されています。また、人工的な秩序より自然の力を重んじる 16 世紀の人文主義的思想の表れともいわれ、装飾画でありながら深い哲学性を湛えた作品でした。

昼食は、美術館に隣接する、リール市のミシュラン星付きレストランの姉妹店「L'atelier du Cerisier」にていただきました。乳製品の豊かな香りと森の食材を組み合わせた北フランスらしい料理が並び、濃厚でありながら優しい味わいが印象的でした。デザートには香ばしさと酸味が心地よく広がる焼きリンゴのタルトが提供され、参加者の皆さんは午前中の疲れを癒しながら食事の時間を楽しんでいました。

午後は自由鑑賞の時間となり、参加者それぞれが思い思いに館内を巡りました。絵画の前でじっと佇む人、展示室を丁寧に歩きながら見て回る人——同じ空間を共有しながらも、それぞれ異なる時間が流れていたように思います。特に多くの方が足を止めていたのは、特別展「GOTHIC（ゴシック）」です。十二世紀の大聖堂建築を起点に、ネオ・ゴシック、さらには現代のファンタジー文化にまで広がる「ゴシックの時間」をたどる展示で、彫刻、写本、絵画、工芸、写真、映像など 250 点を超える作品が紹介されていました。中でも《西暦 410 年のローマ略奪》は印象的で、文明が崩れ落ちる瞬間を描きながらも、画面には静けさと緊張感が同時に漂っていました。光と闇、祈りと破壊、再生と憧れ——ゴシックは単なる建築様式ではなく、人が時代を超えて抱き続ける精神の形を映し出しているかのようでした。

鑑賞を終え、帰りのバスが郊外を進むころ、雲の切れ間から夕日が差し込みました。眠る人、談笑する人、それぞれが一日の出来事を振り返りながら、バスはブリュッセルへと戻りました。

この日、ルーヴル・ランスで見た作品の数々は、単なる美術品ではなく、それぞれの時代を生きた人々の手によって形づくられた“時間の記録”でした。古代から現代へと続く長い歴史の中で私たちはその一端に触れ、同じ時間を共有することができました。芸術と時間、そして人の営みのつながりを改めて感じる一日となりました。

次回の美術部イベントでも、皆さまと新しい発見を共有できることを楽しみにしています。



日本人学校セミナー「ベルギー生活のコツ情報」

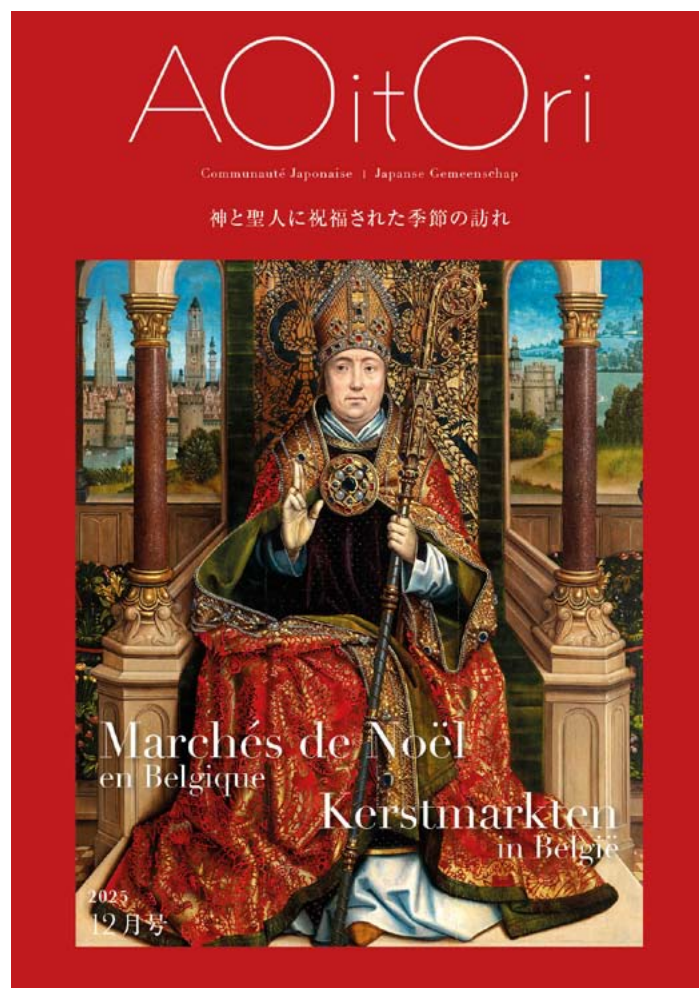
ベルギー日本人会 総務委員会
野一色 守、島 康太

11 月 22 日土曜日に、日本人学校にて、ベルギー唯一の日本語情報誌「青い鳥」の山本編集長を講師にお招きして、ベルギー生活のコツ情報についてお話をお伺いしました。

当日は、合計 18 人の会員やご家族の方にご参加いただき、ベルギーの冬の暮らし方、お勧めの見どころ、アパート入退去時のインベントリーチェック（エタデリュー）の留意点、水づまりや急病などのトラブルの対処、信頼できるサイトの情報、不用品の処分、物価高のブリュッセルで少しでもコストを抑える方法、語学の習得方法などのコツなどについて幅広いご質問をいただきました。

山本編集長からは、ブリュッセルのアールデコ建築や、アート、コンサート、クリスマスマーケットなどのお勧めのほか、周辺都市ではオイペンやドイツの地方都市のクリスマスマーケット、フランドルの馬祭り、また、春のイベントですが、あまり知られておらずお勧めのイーペルの猫祭りなどをご紹介いただきました。

山本編集長は、日本語会話テーブル WA の運営に関わっておられるようですが、語学の習得には、それぞれの言語の会話サークルに参加するのもお勧めのようです。



日本人会秋季テニス練習会結果のお知らせ

日本人会テニス部 2025 年度幹事
屋代



去 11 月 30 日（日）、Sportcity にて日本人会秋季テニス練習会を開催しました。合わせて 32 名の方たちにご参加いただきました。前回同様、試合・大会形式ではなく、コーチをお招きしての練習会といたしました。初級と中級以上とでレベルを分け、より参加がしやすいよう工夫をしておりますが、アンケート結果では、回答者の 100% が満足したとなっており（大変満足は 83%）、一部、もう少し指示をして欲しかったとの声があるも、お金を出しても教えてもらいたいとの声もあり、盛況に終わったものと思います。

指導いただきました宮良空コーチには、きめ細かく 3 コートをくまなく回って頂きながら、一人一人

に丁寧にご指導いただきました。今回の初めて日本人会主催のテニスイベントに参加頂いた方もおりましたので、テニス練習会という場を通じて、新たな交流の場を提供することができたと感じています。引き続き参加してみたいとの声もいただき、参加メンバー同士で、連絡を取り合う方たちもおりました。普段なかなかきっかけが無かった方にとっても、テニス部管轄のサークル（ジョリボア）への参加を検討いただく機会になったことと思います。

ご協力いただきました宮良コーチ、日本人会関係者皆様、他全ての関係者の皆様、応援にお越しいただいた皆様に、この場を借りて厚くお礼申し上げます。

また、来年春に新たな企画を予定しております。引き続き多くの方たちにご参加いただき、一緒に汗をかき、日本人同士の交流を深めるきっかけとしていただければ幸いです。また、普段の活動へのご興味、ご関心がある方も遠慮なく、お問い合わせください。



第 32 回日本語スピーチコンテスト結果報告

文化交流委員会
委員長 井上 智裕

11 月 29 日（土）、ブラッセル日本人学校にて、日本語スピーチコンテストを開催致しました。1991 年にスタートし 32 回目を迎えた今回は、A グループ（初級）5 名、B グループ（中・上級）10 名の計 15 名の参加者が集まりました。

コンテスト参加者の皆様には、緊張のなかでも大変レベルが高く熱のこもった素晴らしいスピーチを披露頂きました。関心を持った日本の歴史や文化などについて、一人ひとりが思いを込めて真剣にスピーチと向き合う姿、学習成果を精一杯発揮しようとする姿は大変感動的なものでした。

審査については、西野在ベルギー日本国大使館次席公使をはじめ、小笠ベルギー日本人会会長、杉本ブラッセル日本人学校校長、ゲント大学アンドレーワ先生をお招きして実施致しました。また、前年優勝者のレオナルドさんからプレゼンテーションを行って頂き、獲得した日本往復航空券で日本に滞在した様子や、今回の参加者へのメッセージなどを頂き大変好評でした。

更に、昨年同様コーラスと和太鼓のパフォーマンスの時間を作り、来場された方々には、文化交流にふさわしいアトラクションも大いに楽しんで頂きました。

最後になりますが、本大会の開催にあたっては多くの方のご協力を頂きました。ご後援頂いた在ベルギー日本国大使館、協賛企業各社、審査員の皆様、日本人学校教職員の皆様、この紙面を借りまして厚く御礼を申し上げます。

引き続き皆様のご支援の程、よろしくお願い致します。

第 32 回日本語スピーチコンテスト結果内容報告

日時： 2025 年 11 月 29 日（土）14:00-18:00

場所： ブラッセル日本人学校

参加者： 15 名（A グループ 5 名、B グループ 10 名）

審査： 小笠 昇 審査員長
（ベルギー日本人会 会長）
西野 修一 審査員
（在ベルギー日本国大使館次席公使）
杉本 和博 審査員
（ブラッセル日本人学校 校長）
アンナ・アンドレーワ 審査員
（ゲント大学 教授）
小泉 敬 審査員
（日本人会文化交流委員）

主催： ベルギー日本人会

主管： ベルギー日本人会 文化交流委員会

後援： 在ベルギー日本国大使館

協賛： アイシン・ヨーロッパ、全日本空輸、アサヒフォトプロダクツ・ヨーロッパ、ベルギー日本語教師会、ブリヂストンヨーロッパ、ダイキンヨーロッパ、デンソーベルギー、日本航空、カネカベルギー、湖池屋、欧州コマツ、コニカミノルタ、ベネルックス三井物産、三井住友海上、ベネルックス住友商事、トヨタ・モーター・ヨーロッパ、豊田通商ヨーロッパ

参加者と審査員の皆さん



結果：

B グループ

優勝	Charline Pitti さん	『宮本武蔵 - 吉川英治』
	賞品 … ベルギー日本往復航空券	全日本空輸
2 位	Alexandra Nozdrina さん	『日本で学んだ親切の力』
	賞品 … ダイキン空気清浄機	ダイキンヨーロッパ
3 位	Boutaina Atta さん	『スクリーンの中の私 ー 現実とバーチャルのあいだで』
	賞品 … ロゴ入りリュックサック、ワイヤレスイヤホン、Samsung タブレット	アイシンヨーロッパ
4 位	Geta Oprea さん	『私にとっての日本』
	賞品 … Rob 商品券	ベネルックス三井物産
5 位	Bengu Durmusoglu さん	『ひさしぶりの日本』
	賞品 … Amazon ギフトカード	ベネルックス住友商事
6 位	Giray Kardeş さん	『アイデンティティの心理学 ー 世界を見るメガネを選ぶのはあなた』
	賞品 … ヘルス多機能付き TANITA 体重計	三井住友海上
7 位	François Van Calster さん	『関ヶ原を訪れて』
	賞品 … LEXUS バックパック by XD	トヨタ・モーター・ヨーロッパ

A グループ

1 位（聴きま賞）	Adrien Guldemont さん	『挑戦と成長』
	賞品 … Admiral ニットベスト	豊田通商ヨーロッパ
2 位（話しま賞）	Emilie Dô さん	『最大の敵』
	賞品 … Benoit Nihant チョコレート ロゴ入りサーモマグ	カネカベルギー 欧州コマツ
3 位（読みま賞）	Nandeta Nagendran さん	『JAPANESE』
	賞品 … FNAC 商品券	ベルギー日本語教師会

大使奨励賞	Christopher Muco Manirakiza さん	『言葉の力』
	賞品 … お茶セット	在ベルギー日本大使館

参加賞	賞品 …	協賛会社
	Frosch 食器用洗剤	アサヒフォトプロダクツ・ヨーロッパ
	ロゴ入り水筒	デンソーベルギー
	ロゴ入りボールペン、Post-it	日本航空
	カラムーチョ Corn Snacks	湖池屋
	エコバッグ	ブリヂストン・ヨーロッパ



優勝者：Charline Pitti さん (Group B)



聴きま賞 Adrien Guldemont さん (Group A)



大使奨励賞受賞 Christopher Muco
Manirakiza さん (Group B)

人材探しなら

インフィニティ



転職をご検討の方 / 人材をお探しの企業様

✉ info@infi-r.com

🌐 www.INFI-R.com

☎ 02 356 9886

🏠 Chaussée de Vleurgat 119, 1000 Brussels

審査審議中には日本文化交流がテーマのアトラクションで、参加者・聴衆者の皆様にもお楽しみいただきました。



コーラスあじさい 3 曲

- ① 花は咲く (Flowers Will Broom)
- ② 紅蓮華 (ぐれんげ) (From 「Demon Slayer」 『The Crimson Lotus』)
- ③ Merry Christmas and Happy New Year



YOROKAI 和太鼓 3 曲

- ① Shichisei
- ② Poseidon
- ③ Hero

優勝者スピーチ

宮本武蔵 - 吉川英治

Charline Pitti

こんにちは、ここに立つことができ、大変光栄に思います。

自己紹介をさせていただきます。シャルリーン・ピッティと申します。17 歳で、ブリュッセル自由大学の学生です。日本に強く惹かれ、15 歳の時、一か月間、日本に滞在しました。

今日は私が 大好きな 文学作品についてお話ししたいと思います。

私の最大の情熱は 文学にあります。

今まで様々な分野の書籍を読んできましたが、もし一冊を選ぶとしたら、私は吉川英治の『宮本武蔵』を選びます。

宮本武蔵を版画や絵で初めて見た時を今でも覚えています。

中国の墨の美しい絵は、あまりにも鮮やかで、私の心を強く打ちました。

その時、宮本武蔵の生きた時間を「ぜひ読んでみたい」と思いました。その、どの文章を読んでも、この伝説的な人物が日本の歴史と文化にとっていかに重要であるかが語られています。

原文の意味を理解するため、まず日本語の書籍を買いました。

そして、わからない単語が出てきた時のために、フランス語版も手に入れました。

最初の一文を読んだ瞬間、私は「これこそが自分にとって一番大切な本になる」と確信しました。

この物語は、16 世紀を代表する最も偉大な侍の一人の歴史を、「剣の道」への歩みを通して語っています。

それが、私の道しるべとなり、生きることの意味を教えてください。

もし、この作品に出会わなければ、その意味に、まだ、気づくことはなかったかもしれません。

すでに、私の中にあった深い感情を、それまで表現できなかった言葉にしてくれたのです。「生きていく」ということの深い意味を。

そのすべてが八巻に凝縮され、一生分の教えが詰まっています。



優勝者 Charline Pitti さんと小笠昇審査員長

今取り組んでいる学びを通して、この教えへの感謝を示したいと願っています。

そして、わたくしが 生涯をかけて成し遂げようと、願う仕事は、文学という言葉の表現を通じて、微妙で深い意味を 読む人に広めていくことです。私がこれからの人生をかけて魂を捧げるべく、続けていこうとするものです。

そして、吉川英治が描く宮本武蔵の生きた その道とは どんな困難に出会っても、学ぶことをやめないという教えです。

この教えを通して、今日ここに立つことができました。

時には不安に心が縛られることもありますが、それを乗り越える価値として、今この瞬間があると、今は知っています。

この作品は私の心の奥に入り、これまで気づかなかった自分の一面を教え続けてくれます。

最後に、この物語の結びの言葉で締めくくりたいと思います。

波騒は世の常である。

波にまかせて、泳ぎ上手に、

雑魚は歌い、雑魚は踊るけれど、

誰が知ろう、百尺下の水の心を。水の深さを。

聞いてくださり、心よりお礼を申し上げます。
ありがとうございました。

西欧絵画の楽しみ方 111

「ビュー・ニューヨーク」ルネ・マグリット

美術史家
森 耕治



「ビュー・ニューヨーク」
ルネ・マグリット
1946 年、笠間日動美術館

この絵を描いたルネ・マグリット(1898–1967)は、ベルギーを代表するシュルレアリスムの画家です。去年 11 月末には、紅葉の笠間日動美術館で、この絵を含む所蔵作品 20 点のギャラリートークを行いました。また今年は、日本・ベルギー修好通商航海条約締結 160 周年にあたります。私も在ベルギー日本大使館の依頼で、2 月 13 日(金)にはフランス語で、16 日(月)には日本語でマグリットについて大使館広報文化センターにて記念講演を行います。

マグリットは日常的なオブジェを非現実的に組み合わせ描き、見る人の思考を揺さぶりながら「現実とは何か」を問いかけました。

笠間日動美術館に展示されている「View New York」(1946 年、水彩・クレヨン・紙)は、終戦直後にアメリカの前衛芸術雑誌「View」のために描



「旅の思い出」
ルネ・マグリット
1961 年

かれた表紙の原画です。紙にグアッシュで描かれたこの一点は、笠間日動美術館が所蔵する貴重な原画であり、果物を擬人化したマグリットの初期の試みの一つです。

私が勤めていたベルギー王立美術館併設のマグリット美術館でも、この雑誌の表紙が一時期展示されていました。

中央には、青りんごのような果物に覆面をつけた顔が宙を飛んでいます。上には葉がつき、表面には光の渦が広がっています。りんごが自らの意志を持ち、こちらを見返してくるかのようです。この擬人化された果実は、のちの「旅の思い出」「ためらいのワルツ」「結婚した司祭」などへと発展する〈覆われた顔〉や〈光の渦〉といったモチーフの原型とも言えます。

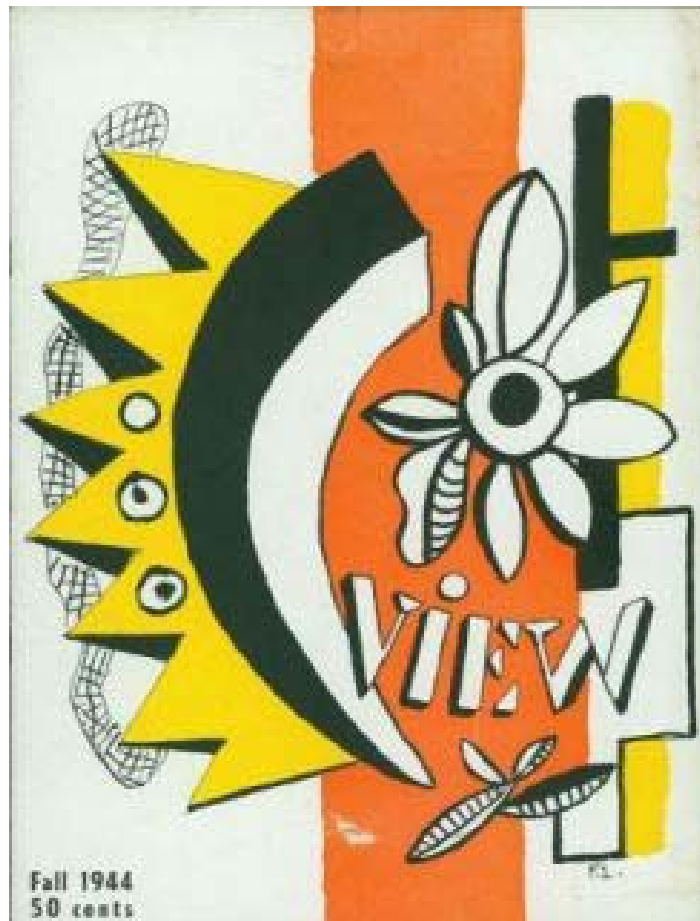
雑誌「View New York」は、1940 年から 1947 年

にかけてアメリカで発行された前衛芸術とシュルレアリスムに特化した雑誌です。編集を手がけたのは詩人兼小説家チャールズ・ヘンリー・フォード（1908–2002）と詩人であり映画評論家パーカー・タイラー（1904–1974）でした。二人はニューヨークを拠点に、ナチスによって「退廃芸術」とされたシュルレアリスムや抽象芸術を積極的に紹介しました。誌面には、アンドレ・ブルトン、サルトル、カミュ、ピカソ、ミロ、シャガール、マックス・エルンスト、マン・レイ、レジェらが登場し、戦時下のアメリカでヨーロッパの前衛芸術を支えました。添付の写真はレジェが 1944 年秋に描いた表紙です。

フォードはミシシッピ生まれの詩人で、若くしてパリの芸術家と交流し、戦時中はアメリカに亡命した作家たちを結びつける中心的な役割を果たしました。彼の雑誌「View」は、誌面を通じて世界各地の芸術家を精神的に結ぶ拠点でした。マグリット自身は戦争中も主にブリュッセルに留まり、この雑誌の活動に直接関わったわけではありませんが、戦後シュルレアリスムの象徴的な存在として表紙を依頼されたと考えられます。

一方、共同編集者のパーカー・タイラーは詩人であり映画評論家でもあり、夢や無意識の象徴を読み解く独自の批評で知られました。二人に共通していたのは、どんな時代にも「想像力と表現の自由」を守ろうとする信念でした。特に彼がフォードと共著してパリで出版した「若き悪人」The Young and Evil（1933 年）は、アメリカ人が初めて同性愛を公言した実験的な小説として知られています。この本は同性愛をタブー視しない描写ゆえに、アメリカでは 30 年以上も発禁処分となりました（1）

フォードとタイラーはこの作品をきっかけに強い創作上の絆を結び、のちに雑誌「View New York」の創刊へとつながっていきます。「若き悪人」で表明された自由な精神、既成道徳への反抗、そして芸術と性の融合というテーマは、「View New York」誌の理念にも受け継がれました。



レジェが描いた表紙

マグリットの「View New York」は、まさにその自由の精神と響き合う作品です。左上から差し込む渦巻く光は、終戦直後の解放と自由の喜びを象徴しているかのようです。覆面の後ろに潜む不敵な眼差しは、マグリットが一貫して追求し続けた「見る」という行為の哲学的探究を象徴しています。雑誌のタイトル「View（見る）」と、リンゴの不敵な眼差しが見事に重なり合っています。

この小さな原画は、単なる表紙絵ではありません。戦争で分断された芸術の世界を再びつなぐ象徴として、またマグリットが信じた「自由な想像力」の再生を告げる灯として、静かに輝き続けています。

註

1. https://en.wikipedia.org/wiki/Charles_Henri_Ford

日本大好き！フェリシアン・ロップス

日本ベルギー 160 年目の友好①

ベルギーのありふれた日常 20

ベルギー文庫

藤野 ユミリ

ナミュールにあるフェリシアン・ロップス美術館で、日本の浮世絵とその影響にまつわるエトセトラをテーマにした、特別企画展が開催中である。そのメインタイトルは、Japoniaiserie、そのあとに *Fantasies japonaises au temps de Felicien Rops* とサブタイトルが続く。訳すと「ジャポニエズリィー・フェリシアン・ロップスの時代の日本的な幻想性」。うーむ、なんだかよくわからない。

わかったのは、どうやらあのロップスが日本の影響を受けていたらしいということ。ロップスといえはあの有名な〈豚の散歩〉。(パンフレットのカバー写真の青い方) 彼女はいったいドレスを着る途中なのか脱いでる途中なのか、はたまたこれは途中じゃなく完成形なのか。頭から足先までめちゃうちゃお洒落に着飾ってるが、セクシーゾーンだけはモロ肌晒してる。で、目隠し。隠す場所が他人とは違う。キューピットたちはなぜ身悶えしながら飛んでいるのか。

そんな突っ込みどころ満載なのが彼のスタイルだが、ロップスのインスピレーションの源はジャポニスムだったのか。わくわくだ。

思い立ったが吉日。取るものとりあえず電車に乗り込み Namur 駅に着いて Musée Felicien Rops 博物館に向かう。途中ラーメン店に出くわす。お！さっそくジャポニスム。一杯食べたい気もしたが、せっかくだからやっぱランチはミュージアム・カフェで洒落込むことにしよう、と我慢。なーんと！フェリシアン・ロップス美術館にはカフェはありません。

ジャポニスム。19 世紀後半、開国したばかりの、チャイナ CN 近くにあるらしい国からやってきて、はじめてヨーロッパにお披露目された絵画、浮世絵、美術工芸品などの数々。「なんだこの色？なんだこの構図？この題材？この組み合わせ？ こんなんアリなのかぁっ?!!!」と世間の度肝を抜き、たちまち日本美術ブームは、「ジャポニスム」という言葉を生んで、パリとその周辺に広がって大きな話題となり、批評家やアーティスト、小説家らに少なからぬ影響を与えることとなった。これは言い古された有名な話である。



特別企画展のパンフレット

とは言え、このナミュールの企画展で注目すべきは 2 点。

第 1 に、テーマタイトルよく見ると「ジャポニスム」Japonism じゃなくて、「ジャポニエズリィ」Japoniaiserie。「日本美術愛好趣味」じゃなくて、「日本もどきの俗悪趣味」。この言葉は Japon(日本)と niaiserie(愚かしい)を掛け合わせた皮肉を込めた造語として以前から存在するものだそうだが、批評家たちに言わせれば、ネコも杓子もジャポニスムジャポニスムと騒いでいたけれど、そこには日本美術の精髓に迫ろうと試行錯誤の跡が見られるものもあれば、いかにも日本風といった表層のみ強調してチャチャッと自己流に処理したものもあった。今回ナミュールではそれら清濁合わせてズラッと並べるラインナップである。

第 2 に、企画展プラス常設ロップス展全体を見せることで、ベルギー美術界の異端児フェリシアン・ロップス (1833-1898) の表現法とか批判精神と、ジャポニスム&ジャポニエズリィ旋風がどうクロスしたのかが浮き彫りにされている。

ナミュールに生まれた地方男子、フェリシアン・ロップスが、絵画、エッチング、リトグラフの道をひた走り、ブリュッセル、パリと徐々に世界の中心へと進出し、いつしか文学運動をも牽引する時代の寵児となっていく。(写真は藤井風ではなく Felicien Rops)

万博が3度開かれジャポニスムたけなわのパリ。いち早く北斎や歌麿の解説本を書いたエドモン・ド・ゴンクールという人物がいた。フランスの芥川賞と呼ばれてる(のか?)ゴンクール賞のあのゴンクールである。彼も浮世絵に導かれたジャポニザン japonisant たち(日本美術にハマった人たちの意。ドガ、ロートレック、マネ、ロダン、ゴッホ……)の一人だった。彼には林忠正(1853-1906)という強力な助っ人がいた、というのも有名な話で、林はパリで日本の美術工芸品を大々的に売りさばいた初めての日本人美術商。ジャポニスムの大きな立役者と言えるのだが、あまりに売り過ぎて同胞たちから売国奴の誹りを受けた時期もあったという。お気の毒。ともあれ、ロップスはこうした当代随一の文化人たちと交わり、軽妙洒落、丁々発止、揉まれに揉まれて異彩を放ってたにちがいない。

この企画展では、ロップスのコレクションを含む本家本元の浮世絵も数点あって、タコ2匹と女がもつれてる北斎の春画も昔同様人気の的でした。ご存知、春画は専門知識なしで楽しめる題材の一つとしてジャポニスムの隠れた目玉。卑猥か官能か解放か、の議論の中、ゴンクールは「目の保養だ」と称えています。上手い。



Felicien Rops

さあ 2026 年は日本がベルギーを含むヨーロッパ各国と次々外交関係を結んで 160 年という節目の年。160 年前に日本は西洋を知りはじめたとばかり思いがちだが、あちらさんたちだって日本を知りはじめたばかりだったんだよなあ、というのが改めてよくわかりました。

思い起こせば 10 年前。「今年は日本ベルギー友好 150 周年！」と日本もベルギーも記念イベントを用意して張り切っていた。なのにテロが起きた。ゲントの海老蔵歌舞伎はキャンセルとなった。恐怖と不安と疑心暗鬼にヨーロッパ中がどんよりしていた。デビット・ボウイも消えてしまい私はもう真っ暗だった。

さあ今年はいいいことありますように！

みなさまのご健康とご健勝をお祈りいたします。

グローバルネットワークでお客様の 引越 / 輸送ビジネスをサポート

- ・日本人立会い
- ・ハウスクリーニング
- ・不用品回収
- ・お譲り品のお届け



N X ベルギー株式会社(旧：ベルギー日本通運)
NIPPON EXPRESS (BELGIUM) N.V./S.A.

TEL : +32 (0)2-751-7814/15

NEBE-removal@nipponexpress.com

<https://www.nipponexpress.com/moving/be/>

告知板

このページは、会員の皆様の情報交換の場です。

- ・各種同好会の案内、募集
- ・求人／求職
- ・同窓会の案内通知
- ・譲ります／譲られたいなど、
- ・各種イベントの案内
- ・どしどしお寄せ下さい。

200 字以内にまとめて下記宛送付下さい。

e-mail: jimukyoku@nihonjinkai.be

*紙面の都合上、編集することもありますので、ご了承ください。

日本人会関係行事予定

日程	内容	場所
2025 年		
10 月 10 日 (金)	「サロン音楽『ピリオド楽器による弦楽四重奏』」	在ベルギー日本大使館 1F 広報文化センター
10 月 19 日 (日)	トラピスト「Orval」ビールバスツアー	Orval 修道院
10 月 25 日 (土)	ルーブル・ランス美術館見学バスツアー	ルーブル・ランス美術館
11 月 13 日 (木)	2025 年度 第 2 回 役員連絡会	ベネルックス住友商事 会議室
11 月 18 日 (火)	2025 年度 第 2 回 理事会	ブラッセル日本人学校 多目的室
11 月 22 日 (土)	日本人学校セミナー「ベルギー生活のコツ情報」	ブラッセル日本人学校 多目的室
11 月 29 日 (土)	第 32 回 日本語スピーチコンテスト	ブラッセル日本人学校 体育館
11 月 30 日 (日)	2025 年秋季 日本人会親睦 テニス練習会	Sportcity バブルコート
2026 年		
1 月 15 日 (木)	2025 年度 第 3 回 役員連絡会	ベネルックス住友商事 会議室
1 月 18 日 (日)	エリザベート王妃音楽院見学ツアー	エリザベート王妃音楽院
1 月 22 日 (火)	2025 年度 第 3 回 理事会	ブラッセル日本人学校 多目的室
2 月 13 日 (金)	クラシック音楽をもっと楽しもう会	ブラッセル日本人学校
3 月 5 日 (木)	2025 年度 第 4 回 役員連絡会	ベネルックス住友商事 会議室
3 月 8 日 (日)	ベルギー動物園 (Pairi Daiza) バスツアー	Pairi Daiza 動物園
3 月 10 日 (火)	2025 年度 第 4 回 理事会	ブラッセル日本人学校 多目的室
5 月 7 日 (木)	2025 年度 第 5 回 役員連絡会	ベネルックス住友商事 会議室
5 月 12 日 (火)	2025 年度 第 5 回 理事会	ブラッセル日本人学校 多目的室
6 月 11 日 (木)	2025 年度 第 6 回 役員連絡会	ベネルックス住友商事 会議室
6 月 19 日 (金)	2025 年度 第 6 回 理事会・2025 年度 総会	Renaissance Brussels Hotel

日本人のための仏語講座 (2026 年 2 月-2026 年 6 月)

前ブリュッセル外国語大学講座

オンラインにて仏語の文法・日常会話を初級・中級・上級レベルにてお教え致します。

木曜日クラス 9 時半～11 時或いは 11 時半～13 時 (18 回にて 450€)

2 月 5 日・12 日・19 日・26 日 3 月 5 日・12 日・19 日

4 月 2 日・9 日・16 日・23 日 5 月 7 日・14 日・21 日・28 日 6 月 4 日・11 日・18 日

金曜日クラス 9 時半～11 時或いは 11 時半～13 時 (18 回にて 450€)

2 月 6 日・13 日・20 日・27 日 3 月 6 日・13 日・20 日

4 月 3 日・10 日・17 日・24 日 5 月 8 日・15 日・22 日・29 日 6 月 5 日・12 日・19 日

少人数にてフランス語の文法と日常会話をお教え致します。

ご質問・お申し込み shizuka.watanabe23@icloud.com 渡邊までお願い致します。

●日本語カトリック教会からのお知らせ

2026 年 1 月と 2 月は、「御言葉の祭儀」です。

日時：1 月 11 日(日)と 2 月 8 日(日) 11:30~12:30

場所：ブリュッセルのスクート会聖堂

住所：Chaussée de Ninove 548, 1070 Bruxelles

聖書勉強会

未定ですので、facebook にてご確認ください。

上記内容は時に変更されますので、予め下記にてご確認ください。

☆ <https://www.facebook.com/groups/592349231569301/>

☆ nihongomisa@gmail.com

☆ nihongomisa@gmail.com

☆ 長南恵子：0486-775750

●百人一首競技かるた会 新規メンバー募集中！

月 1 回・日曜 14 ~ 16 時 Boifort (「はるちゃん」近く) で練習しています。

参加費 10€、学生 6€。未経験者、小学生から大人まで大歓迎。

連絡先：contact.be@cismbe.org

●日本図書館 Biblio Japon ご案内

本会は、日本書籍の貸し出しを通じて、ベルギー生活を豊かに過ごすための会員制文化サークルです。貸し出し以外にもイベント（読書会・映画会・講演会・音楽会・遠足など）を開催します。

Eglise Sainte-Cecile,

1 Parvis Sainte-Cecile 1083 Bruxelles(Ganshoren)

皆様のご参加をお待ち申し上げます。

開館日 1 月 24 日、2 月 21 日午後 3 時— 5 時

連絡先：中山 bibliojapon@gmail.com

詳細はフェイスブックをご覧ください。

www.facebook.com/groups/bibliojapon

●コーラスふるさとご案内

歌好きの仲間が集まって日本の合唱曲を楽しむ混声合唱団です。

月一回土曜日午後 3 時から 5 時まで練習。

1 月 10 日、2 月 14 日

Brussels Language Activities

Rue des Aduatiques 15,1040 Bruxelles(Etterbeek)

コーラス初心者の方も合唱の基本を学びながらコーラスを楽しみませんか。

連絡先：中山 hiro.nakayama.bxl@gmail.com

詳細はフェイスブックをご覧ください。

www.facebook.com/chorusfurusato

● Japanese Culture WA の月例会のご案内

場所：OpWeule (会議室 4)

住所：Sint-Lambertusstraat 91, 1200 Brussels

日時：2026 年 1 月 18 日, 2 月 15 日, 3 月 15 日

10:00-13:30 紙芝居練習

10:00-12:00 硬筆アトリエ

14:00-16:00 会話テーブル

日時 3 月 15 日のみ

16:30-18:30 カラオケパーティ

参加は無料です。ホームページのカレンダーで確認してください。

Japanese Culture WA 0477 36553

<https://www.jcwa.eu> info@jcwa.eu

【会報アンケートのお願い】

より良い会報づくりのため、読者アンケートを実施中です。

QR コードまたは以下のリンクから、簡単にご回答いただけます。

読者アンケート：<https://forms.office.com/e/BeKtc5zfA4>

所要時間は約 3 分。皆さまのご意見をお待ちしております！

ご協力おねがいいたします！



編集後記

新年あけましておめでとうございます。

2026 年の新たなスタートを迎え、ベルギー日本人会の 1 月号会報をお届けできることを大変嬉しく思います。今年は日本とベルギーの国交樹立 160 周年となる節目の年となります。この記念すべき年を皆で共に祝い、両国の交流を深めることが出来ればと思います。

さて、話は変わりますが、先日ブリュッセルから車で 20 分ほどの郊外にあるフォロン美術館 (Folon Foundation) を訪れました。車を停めてから美しい農園の中を少し歩いた先に美術館があります。近年、日本でもフォロンの展示会が開催されているらしく、遥々日本から訪れる方もいらっしゃるようで、日本語で書かれた説明ガイドも準備されていました。受付を済ませた後、ビデオを見終わると、壁全体に作られた大きな本のページが開き、本をくぐった先が美術館になっているという仕掛けで驚きます。ワクワクしながら入って行くと、中には、水彩画、版画、ポスター、彫刻など様々な作品が展示されており、私のように予備知識無しで行っても十分に楽しめる内容となっていました。フォロンが表紙を手掛けた日本の作家さんの本も展示されていました。そして実際にフォロンがデッサンの作品を仕上げていくまでの工程を映したビデオには興味深く見入ってしまいました。最後にはギフトショップがあり、レストランも併設されていますので、展示を見終わった後に、農園の景色を眺めながらのんびりと食事を楽しむことも出来ます。フォロンの世界観に触れて、柔らかで暖かい気持ちになることができると思います。あたりは池や遊歩道を散策できるようになっていますので、お天気の良い日に、ぜひお出かけしてみたいはいかがでしょうか？

(月担：野村)



広告を募集しております。

掲載ご希望の方は前もって、日本人会事務局へご連絡の上、以下の枠内に編集した P D F ファイル（カラー、リンク可）を日本人会事務局（jimukyoku@nihonjinkai.be）へご送付下さい。

Size	Member Price	Non-Member Price
1/4 Page（縦 60 × 横 198 mm）	60 €	170 €
Full Page (A4)（縦 297 x 横 210 mm）	200 €	450 €

原稿締切は原則会報発行月の前月 1 日です。詳細は日本人会事務局までお問い合わせ下さい。掲載広告については、当会が内容を保証するものではありません。情報の詳細等は、各掲載主へ直接お問い合わせください。掲載広告のご利用における、事故・トラブルに関して、弊会では一切の責任を負いかねます。

広報委員会

会員限定コンテンツ

※ベルギー日本人会にご入会いただければ、会員限定コンテンツもご覧いただけます。

入会のご案内

当会に入会ご希望の場合は、その旨、メールにてご連絡ください。

jimukyoku@nihonjinkai.be

折り返し入会手続きと入会申込書をお送り致します。理事会での審査・承認のため、お申し込み
いただいてから、1～2週間程要しますので予めご了承ください。

＜会員の種類＞（ベルギー日本人会規約 第5条）

1. 正会員：ベルギー所在の日系企業及び団体、日本法人の支店、事務所及び子会社、及びそれら
に準ずると認められる企業・団体。
 - ・日本人会の商工委員会に所属し、日本人会の行事に参加頂けます。また、総会での議決権を有し
ます。会報（隔月発行）をお届けします。
2. 賛助会員：本会の目的を支持し、恩恵を受けることを望む個人もしくは法人。
 - ・日本人会の行事に参加出来ますが、総会はオブザーバーとなります。
 - ・会報（隔月）発行のお知らせとパスワードをお届けします。

賛助会員は以下となります。

- 1) 普通会员：正会員に所属するもので正会員により届出られた方。
- 2) 個人会員：ベルギー在住の個人。
- 3) 特別会員：正会員以外の法人もしくは個人
- 4) 名誉会員：在ベルギー日本国大使館、欧州連合日本政府代表部、ブラッセル日本人学校及びそ
の届け出するメンバー、及び理事会により特に名誉会員と認定された方。

ご不明な点がございましたら、事務局までお気軽にお問い合わせください。